

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立武雄青陵中学校
1 前年度 評価結果の概要	○学力の向上については、ICTの活用により分かりやすい授業を実践し、授業が「分かりやすい」と感じている生徒が多い、家庭学習の充実により確かな学力を定着させ、主体的な学習に取り組む生徒を育てたい。 ○心の教育については、道徳や学校行事等で相手思いやる豊かな心の醸成、学校生活アンケートなどによる安心して学校生活に取り組める環境づくり、自分の将来設計について真剣に考える土壌づくりを行うことができた。 ○業務改善・教職員の働き方改革の推進については、年休取得日数が昨年よりも増加するなど、着実に進んでいる。前例踏襲ではなく、教職員の働き方に対する意識改革と業務改善をさらに進めていく必要がある。
2 学校教育目標	高い志と未来を切り拓く力をもち、地域や国際社会の発展に貢献できる、人間性豊かな人材を育成する。
3 本年度の重点目標	○学力向上と進路支援 ○生徒指導の充実 ○中高交流の促進 ○保護者・地域との連携 ○教職員間の組織力の向上、迅速・的確な問題解決、働き方改革の推進及び法令順守意識の徹底

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒が自ら考え、主体的な学習ができるようになる。 ○家庭学習時間の充実と増加	○学校評価アンケートにおいて、「授業を受けるのが楽しい」と回答した生徒が90%以上。 ○学校評価アンケートにおいて、「本校では、ICT機器(電子黒板・学習用PC)が有効に活用されている」と回答した生徒が90%以上。	○ICT機器の効果的活用で学力向上に役立てる。 ○少人数授業やIT授業を効果的に行う。また、個別学習、グループワーク、アクティブラーニング等を通じて、多様な生徒の能力を引き出す。 ○生徒が自ら考え、主体的な学習ができるように、教師は探究的授業を実践する。 ○課題や定期テストへの取り組み方を提示するとともに、家庭学習時間の確保、充実を支援する。					総務
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学校評価アンケートにおいて、「授業がわかりやすい」と回答した生徒が95%以上。 ○学力推移調査において、GTZを各教科(国・数・英)をA3以上、国・数・英総合評価で1年生はB1以上、2・3年生はA3以上にしている。	○授業評価アンケートを年2回行い、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 ○学力推移調査実施後、教科担当で結果を分析し、全職員での共有し、学習指導の充実に関与する。 ○サポート学習会、土曜ハイレベル講座等を利用し、個に応じた学習指導を行い学力向上を目指す。					総務
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「道徳の授業を通じて、思いやりや正義感、感動する心身に身につけることができた」と回答した生徒が95%以上。	○生徒の心の成長に応じて、道徳の授業を計画し、内容を工夫し、生徒の人権意識を高める。 ○学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、「取組内容」を達成する。					総務
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価アンケートにおいて、「他者を理解する心」「思いやりや心」を大切にしたい」と回答した生徒が90%以上。	○学校独自様式による「学校生活アンケート」を年に3回実施するとともに、県指定様式による「いじめ・体罰アンケート」を年に2回実施する。 ○いじめを積極的に認知し、解決にあたっては組織的に速やかに対応する。					生徒指導
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「将来の自分の進路について考えることができた」と回答した生徒が90%以上。	○体験的な学びや教科横断的な授業を通じて、将来の目標設定の手助けを行う。 ○探究活動やキャリア及び進路に関する講演会等を通じて、自分の進路について考える機会をもうける。					総務
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○学校評価アンケートにおいて、「健康に食事は大切である」と回答した生徒が95%以上。	○「食育だより」を見直し、生徒の食に対する意識が高まるような多角的な内容にする。 ○各授業や生徒委員会活動、また講演会等を通して、食事を基本とする健康的な生活の大切さを伝える。					保健相談
	○安全に関する資質・能力の育成	○学校評価アンケートにおいて、「講演会や防災に関する行事や授業などを通じて防災意識が高まった」と回答した生徒が90%以上。	○防災避難訓練や、身の周りに起こりうる災害についての授業を通して、防災意識を高める。 ○PTAと連携をとり、生徒・教職員分の備蓄食糧の整備をする。 ○学校周辺の危険箇所を把握し、情報を共有する。 ○毎月安全点検を行う。					保健相談
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	○完全定時退勤日を設け、時間外勤務時間を削減する意識づけを行う。 ○時間割上の配慮や年休取得推進日を設け、年休を取得しやすい環境づくりを行う。 ○業務分担について、学校運営の改善を更に進めることで、心理的安全性が保てる環境づくりを行う。					教頭
	○保護者・地域との連携強化	○学校評価アンケートにおいて、「学校は、メールや学校ホームページ等で、地域や保護者に情報発信を行っている」と回答した保護者が90%以上。	○学校ホームページを更新し、本校の教育活動とその成果を発信する。 ○Classi(アプリ配信)を活用し、学校からの連絡や家庭からの欠席連絡を確実に確認する等、行き違いや漏れがないようにする。					教頭・教務
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の理解の促進と専門性の向上	○特別支援教育に関する理解が深まったと回答する職員が80%以上。	○生徒指導協議会を開き、職員間の共有を図る。 ○職員研修を行い、特別支援に関する専門性を高める。					保健相談
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○生徒が行きたいと思う学校づくり	○魅力ある学校行事等の企画・実践 ○自己有用感の育成	○学校評価アンケートにおいて、「本校に来て良かった」と回答した生徒が90%以上。 ○学校評価アンケートにおいて、「先生はあなたの良いところを認めてくれている」と回答した生徒が90%以上。	○日々の学習活動や学校行事を通し、生徒主体の活動を重視しながら、適切に判断・評価をする。 ○職員間の情報共有、共通理解を確実にし、連携体制の強化を図る。 ○教育相談等を活用すると同時に、生徒の変化を敏感にキャッチし、その支援を適切に行えるように全職員で取り組む。					

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--